

子どもが知るべき創世記の重要な事件

10月

5 / 日曜

人間は、神様とともにいるように
創造されました

創世記 1:27 ~ 28

神はこのように、人をご自身のかたち^{じしん}に創造^{そうぞう}された。神のかたち^{かた}に彼^{かれ}を創造^{そうぞう}し、男と女とに彼ら^{かれ}を創造^{そうぞう}された。(27)



- 1 . 人間が創造される前の状況はこうでした (創 1:2)
 - (1) 地はかたちがありませんでした (混沌)
 - (2) なにもありませんでした (空虚)
 - (3) やみが大いなる水の上にありました (暗やみ)

- 2 . 神様がまずはじめになさったのは「光あれ」とおっしゃったことです (創 1:3)

- 3 . 神様は全地を創造されました
 - (1) みことばで創造されました (創 1:1~16)
 - (2) 人間を直接、創造されました (創 1:27)
 - (3) エデンの園を創造されました (創 1:2~17)

- 4 . 神様がつくられた重要な制度があります
 - (1) 安息の制度をつくられました (礼拝)
 - (2) 家庭の制度をつくられました (創 2:18)
 - (3) 文化の制度をつくられました (創 1:28)

- 5 . 神様はいつでも福音で私たちを呼んでおられます
 - (1) 光をくださいました (創 1:3)
 - (2) 女の子孫を送ると約束してくださいました (創 3:15)
 - (3) みことばが人となって、私たちの間に住まわれました (ヨハネ 1:14)
 - (4) やみの中から呼び出して、ご自分の驚くべき光の中に入れてくださいました (I ペテロ 2:9)

子どもが知るべき創世記の重要な事件

10月

12 / 日曜

人間は、はじめから失敗して
神様は救いをあたえてくださいました

創世記 3:15

わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの^{しそん}子孫と女の^{しそん}子孫との間に、^{てきい}敵意を置く。^{かれ}彼は、
おまえの頭を^ふ踏み^{くだ}砕き、おまえは、^{かれ}彼のかかとかみつく。



1 . 神様は人間をかんぺきに祝福しゅくふくされました

- (1) 神様のかたちそのに人間を創造そうぞうされました (創 1:27)
- (2) 美しい園うつくをくださいました (創 1:28、2:1~14)
- (3) 美しい家庭うつくをくださいました (創 2:18)

2 . しかし、人間が罪つみの中におちいってしまったのです

- (1) へびの中に入ったサタンがエバにうそを言いました (創 3:1)
- (2) そのことばにゆれてしまいました (創 3:3)
- (3) ゆれたので、サタンは確信かくしんをもってうそを言いました (創 3:4)
- (4) 人間の傲慢こうまんさを刺激しげきしました (創 3:5)
- (5) 誘惑ゆうわくには力があります。善悪ぜんあくを知る木の実が、食べるのに良く、目に慕したわしく、賢かしこくするというその木はいかにも好ましくなるようにさせました (創 3:6)
- (6) 人間は、霊的れいできな目が暗くらくなって、肉的にくてきな目が開ひらきました (創 3:7)
- (7) 神様の前で、アダムはエバのせいにして、エバはへびのせいにしました (創 3:12~13)

3 . 苦しみこんばんの根本が来るようになりました

- (1) 悪魔あくまの子どもになりました (ヨハネ 8:44)
- (2) 悪魔あくまにつかまってしまいました (使徒 10:38)
- (3) 人間と土地がのろいが臨のぞむようになりました (創 3:16~20)

4 . 神様の救すくいの方法は、女の子孫ほうぼうキリストしそんです (創 3:15)

子どもが知るべき創世記の重要な事件

10月

19 / 日曜

あまりに悪い人間に神様の
わざわいのぞ
災いが臨むようになりました

創世記 6:14

あなたは自分のために、ゴフェルの木の箱舟^{はこぶね つく}を造りなさい。箱舟に部屋を作り、内と外とを木のやに^{はこぶね へ や}で塗りなさい。



1 . 暗やみの組織は、いつでも存在しています

- (1) 暗やみの組織は、この世が作られる前に、やみと、形がないこと、何も
ないという状態で存在していました。人間を誘惑して墮落させた元を
作ったのも、暗やみです（創 1:2、3:1~5）
- (2) 福音がない時代ごとに、災難と戦争のような災いが、かならず起きました。
- (3) 暗やみの組織は、再臨のときまで存在します（マタイ 25:41）

2 . ノアの時代に罪がいっぱいになりました

- (1) 不信仰で結婚しました（創 6:1~2）
- (2) ネフィリム時代でした（創 6:4）
- (3) とても悪いことをするようになりました（創 6:5）
- (4) 神様は、人を造ったことを悔やみ、心を痛められました（創 6:6~7）

3 . ほろびから救う約束をくださいました

- (1) しかし、だれもそのことを聞きませんでした
- (2) 神様はノアに箱舟を作りなさいとおっしゃいました（創 6:14、6:18、6:20）

4 . ノアを神様は用いられました

- (1) ノアは恵みを受けた人でした（創 6:8）
- (2) 義人でした（創 6:8）
- (3) その当時に完全な者でした（創 6:8）
- (4) 神様とともに歩みました（創 6:9）
- (5) さばきの時に救われました（箱舟）

子どもが知るべき創世記の重要な事件

10月

26 / 日曜

福音の文化をもって
人々を生きましょう

創世記 11:1~9

それゆえ、その町の名はバベルと呼ばれた。主が全地のことばをそこで混乱させたから、すなわち、主が人々をそこから地の全面に散らしたからである。(9)



1. 今まであった文化を参考にしましょう

- (1) 封建主義思想
- (2) ルネサンス時代
- (3) 民族主義
- (4) 軍国主義
- (5) 共産主義と民主主義

2. アブラハム時代に神様に挑戦する文化がメインになりました

- (1) レンガと瀝青、町と塔を立てるほど、発展した文明がありました（創 11:4）
- (2) 彼らは塔をたてて天にまで届くようにして、名をあげて、散らされないようにしようと言いました。それは、彼らが高慢だったということです（創 11:4）
- (3) 神様はバベルの塔をくずされました（神様のさばき）

3. 神様の人、正しい思想を持つべきです

- (1) グローバル思想を持たなければなりません（マタイ 28:16～20、マルコ 16:15～20、使徒 1:8）
- (2) 合理的な思想を持たなければなりません（知識、知恵、哲学、情報、未来）
- (3) 霊的な思想を持たなければなりません（苦難、霊的問題、福音）